



平成29年3月29日

各 位

会 社 名 株式会社 朝日ラバー
代表者の役職名 代表取締役社長 渡邊 陽一郎
(JASDAQ コード番号 5162)
問い合わせ先 取締役管理本部長 田崎 益次
T E L 048-650-6051

第12次三カ年中期経営計画（V-2計画）の策定について

当社は、平成30年3月期を初年度とする三カ年の「第12次三カ年中期経営計画（V-2計画）」（平成29年4月～平成32年3月）を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

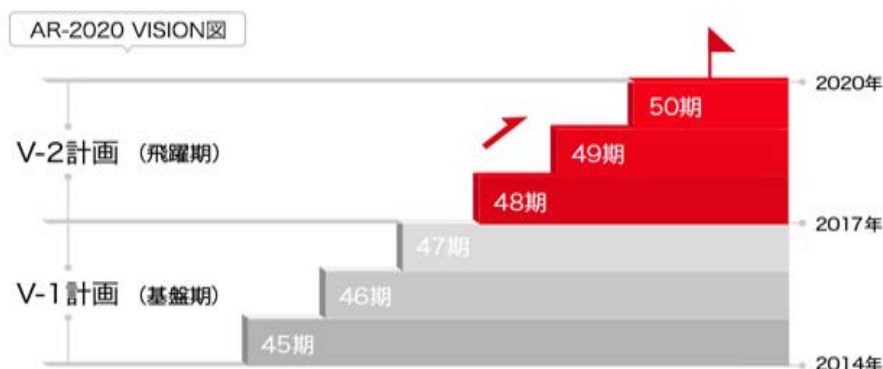
1. 第12次三カ年中期経営計画（V-2計画）の位置づけ

当社では、平成32年（2020年）を見据えたビジョンを「AR-2020VISION」を平成26年（2014年）に決めました。

AR-2020VISION

- ・技術革新を基盤に、新しい価値を創造し続ける企業になる。
- ・現在の仕事に慢心せず、常に変革を求め、経営環境の変化に応じ継続的に磨きをかける。
- ・人財こそが、事業運営の要とし、人材の育成を行う。

このビジョンの実現に向けて、二つのステージを設定し、最初のステージの平成29年（2017年）3月期までの三カ年を「V-1計画」、次のステージの平成32年（2020年）3月期までの三カ年を「V-2計画」として中期、単年度の経営計画を策定して進めています。



2. 中期経営方針と中期経営戦略

(1) 中期経営方針

「AR-2020VISIONに通ずる質的成長を求めて広く社会に貢献する」

(2) 中期経営戦略

- ① ゴム技術・コア技術・製品力を成長させる
- ② 経営基盤を磨き成長を加速する

3. 連結経営目標

平成32年(2020年)3月期目標(V-2計画最終年度)		
連結売上高	70~80億円	(平成29年3月期見通し 64.7億円)
連結営業利益率	8%以上	(同 7.1%)

当社事業は自動車関連や医療関連をはじめ、独自の技術を用いて社会に貢献できる市場を常に開拓しています。また、その範囲は国内だけでなく海外にも広がっており、将来の環境の変化の先行きを見通すことが難しくなっています。そのため、連結売上高に関する目標数値は70~80億円と、環境の変化による影響を考慮しながら成長を続ける目標を定めました。

利益指標については、売上高に影響を及ぼす市場環境の変化に対応しながらも、質的成長を目指すことから、連結営業利益率を目標指標としました。

4. 事業分野と連結売上高目標

重点事業分野	連結売上高目標		主な重点戦略製品
		平成29年 3月期見通し	
車載・照明	30~35億円	28億円	ASA COLOR LED、透明部材、 反射材料 など
当社のコア技術のひとつである色と光のコントロール技術を駆使したASA COLOR LEDなど、他社に真似のできない独自製品で市場と顧客の要望に応える。また、培った技術を照明全般に視点を広げて市場を見出していく。			
医療・ライフサイエンス	13~15億円	12億円	採血用・薬液混注用ゴム栓、プレフィルド シリンジガasket、マイクロ流体デバイ スなど
医療現場での衛生管理や医療事故の防止などに役立つディスプレイのゴム製品と診断医療や解析分野に貢献するマイクロ流体デバイスの開発を進める。			
その他	27~30億円	24億円	RFID タグ用ゴム製品、自動車向けスイ チ用ラバー、卓球ラケット用ラバーなど
ゴムの可能性を追求し、独自のコア技術と複合化させたこれまでにない付加価値を持つ機構製品を提供する。			
合計	70~80億円	64億円	

5. 健康経営の推進

企業の社会的責任を果たすため、環境、統制、社会、健康、ワークライフバランスをキーワードに、企業価値を高める活動や組織と労務のあり方について積極的に投資し、当社を取り巻くステークホルダーの期待に応えられる企業グループを目指します。

以 上